

導入年度	H 1 4 年	設備名	熱処理用電気炉		
メーカー	(株) デンケン	型式	KDF-P100G	設置室	鑄造・熱処理実験室

《概要》

鉄鋼材料の機械的性質を改善するために行う熱処理試験に用いる。最も一般的な構造用炭素鋼 (S45C) では、焼き入れ (加熱温度: 860℃)、焼き戻し (200~400℃) の熱処理が必要である。また、金型材料 (SKD)、ステンレス鋼 (13Cr) では焼き入れ (1100℃) が必要である。

《装置外観》



《仕様》

- ・ 炉内寸法: W350×H300×D500
- ・ 常用/最高使用温度: 1000℃/1100℃
- ・ 炉内温度分布: ±3℃
- ・ 炉内雰囲気: 窒素・アルゴンガス
- ・ プログラム運転: 40パターンの記憶が可能

《用途》

- ・ 金型材料・ステンレス鋼、炭素鋼等の焼き入れのための加熱試験
- ・ 構造用炭素鋼の焼きなまし、焼き戻し等の熱処理試験
- ・ 金属材料の熱処理による機械的特性変化を調べる加熱試験